

## 「パパ育休応援プロジェクト」の狙い

### 1. 現状（なぜ男性は育休を取りづらいのか）

令和4年(2022)度実施した「北九州市の男女共同参画社会に関する意識調査」によると、「育児休業を取得したい」と回答した男性の割合は80.1%、一方、実際に育児休業を取得した男性の割合は36.3%（令和5(2023)年度「北九州市における女性の活躍推進実態調査」）と、希望と現実には差がある状態です。

男性が育休を取りづらい理由（課題）としては下記が挙げられます。

- ①育児休業を取得する人が周囲にいない、少ない（51.7%）
- ②仕事に差し障りがある、または代替者がいない（29.4%）
- ③仕事が多忙で取得が難しい（26.9%）
- ④経済的負担に対する不安がある（26.9%）
- ⑤同僚に負担をかけるのではと気兼ねがある（22.9%）

※令和5(2023)年度「北九州市における女性の活躍推進実態調査」上位5項目抜粋

### 2. 対応策（どうすれば男性が育休を取得できるのか）

- 課題①への対応（周りに育休を取得した男性社員がいれば…）  
⇒会社で一人目の育休取得経験者を出すためのきっかけづくり  
「**パパ育休第一号サポート奨励金**」でまずは取得を促します！
- 課題②③⑤への対応（育休を取ったら同僚や上司に迷惑がかかるのでは…）  
⇒育休取得をサポートしてくれる同僚への応援手当として、「**パパ育休第一号サポート奨励金**」を使用。育休取得者も企業（同僚）もWinWin！
- 課題④への対応（育休を取ったら給料が減るのでは…）  
⇒令和7年4月より国の育児休業給付金が拡充され、手取りが8割から10割相当の補償へ！  
※子の出生後8週間以内に、本人と配偶者の両方が14日以上育児休業を取得する場合に最大28日間まで

### 3. 奨励金以外の更なる北九州市独自の取組み

#### ● パパ育休セミナー

男性の育休取得については、「夫が育休を取得しても、家事や育児に関わる時間が少ない、意識が足りない」といった、いわゆる“とるだけ育休”を懸念する妻の声があります。

「なぜ男性が育休を取得するのか」、「とるだけ育休にならないようにどうすべきか」などをテーマに、夫婦で今後の働き方や暮らし方を考えるきっかけとなるイベントを開催します。

#### ● 北九州市 Work Life Balance 表彰

男性育休がさらに市内企業に広がるよう、男性育休取得を実現した企業の好事例を紹介、表彰します。